

# 「死亡ゼロ」へ心を引き締める

## 浦幌消防団出初式



きびきびと行進する団員

浦幌消防団（澤口敏晴団長、団員100人）の出初式が1月4日、中央公民館などで開かれ、団員や中川郁子衆院議員、各界の代表ら131人が出席しました。団員はコスミックホールから消防車両6台と共にきびきびと行進。式典では澤口団長が「死亡ゼロのまちを」とあいさつ。永年勤続などの表彰が行われました。



挨拶する澤口団長



勤続等の表彰

# 浦幌町と友好の町絆協定締結 (岩手県) 洋野町だより



鬼に抱かれ泣き叫ぶ子ども

## 小正月の伝統行事「なもみ」

林郷青年会（西君治会長）が1月11日、洋野町大野の林郷地区に伝わる小正月の伝統行事「なもみ」をJR種市駅前と道の駅おおので行いました。

両会場では、大勢の親子連れが集まる中、太鼓の音とともに、赤、青、白鬼に扮した同会のメンバーが登場。酒で清めた後、刃物を模したものを持ちながら会場を巡り、泣き叫ぶ子どもを抱きかかえては「悪いわらしはいねぐが〜」、親の言う

ごと聞げよ〜と大声で迫りました。子どもたちは泣きじゃくりながら「いい子にします」と約束しました。

子どもの健やかな成長を祈願する「なもみ」は約200年の歴史があると伝えられています。最近まで途絶えていましたが、平成15年に同会が復活させ、保存・伝承活動に取り組んでいます。一昨年に大ヒットしたNHK朝の連続テレビ小説「あまちゃん」では、第92話に登場し、全国区になりました。

## 出席御礼

過日開催いたしました平成27年浦幌消防団出初式に際しましては、公私共にご多忙中にもかかわらずご臨席を賜り厚くお礼申し上げます。

お蔭様をもちまして、出初式が盛会のうちに無事終了することが出来ましたことを、心から感謝申し上げます。

今年は、さらに地域の予消防活動に尽力し、歴史と伝統を保持しつつより一層の努力をいたす所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

時節柄、皆様にはご健勝にてご自愛下さいますよう、ご折念申し上げます。

東十勝消防事務組合  
浦幌消防団長 澤口敏晴

## 園開放のお知らせ

町内の小さなお子さんを持つ家庭に保育園の遊戯室を開放しています。親子で遊びに来てください。保育園のお友達と一緒に遊びましょう！（※申込不要）

◎しらかば保育園 (Tel 576 - 2765)

2月3日(火) 9時30分～11時

◎上浦幌ひまわり保育園 (Tel 576 - 6205)

2月10日(火) 9時30分～11時

## コラム ひとこと

### 馬たち

馬の群が草を食んでいる写真を見たのは、浦幌町移住体験住宅のこと。白馬を中に馬たちがゆったりくつろぐ姿が美しい。「いい写真ですね」と声を上げたのは、私の心の奥に馬への大切な思いがあったこと。かつて浦幌は日本に九カ所あった有名な馬産地のひとつ。戦争中は軍用馬として召された数は多かつたが足らず、農耕馬を軍用保護馬と名をかえ、各集落で十頭十五頭の馬を鍛錬させた由。物資のない時代、鞍（くら）は革（かわ）の代わりの白いズック。軍用保護委員までいたとか。

「うちの馬が兵隊に行くんだ」お父さんに起こされ、万年の踏切で征（ゆ）く馬の貨車を待ち、日の丸を振って「万歳」を叫んだ夜中の闇。「うちの馬がどこにいるかわからないのに」と話したK子さん。

今年で戦後七十年。満州事変、日中戦争、太平洋戦争のほぼ十五年で戦争に行った馬はただの一頭も還らない。戦火だけではない。与える塩がない。鉄をかじり歯をぼろぼろに死んだ馬たちだった。私は青い目の馬が好き、馬という字もいい。

(高橋悦子)